



【先週 5月10日～5月16日の外食の出来事】

■ロイヤル ロイヤルホストなど70店閉鎖へ 新型コロナで急速に業績悪化

ロイヤルは「ロイヤルホスト」などの不採算店計約70店を2021年12月までに閉店する。新型コロナウイルス感染拡大に伴う外食控えなどで業績が急速に悪化。6月中間連結決算の純損益は155億円の赤字に転落する見通し。

■イオンモール休業で、ステーキ「ハドウス」破産 ステーキ離れで債務超過だった

イオンモールなどでステーキ「ハドウス」を運営する株式会社日商丸小が岐阜地裁に破産を申請。負債は現在調査中だが、数億円にのぼる見通し。新型コロナウイルスの影響で商業施設の休業が相次ぎ、資金繰りも限界に。

■グローバルダイニング、継続企業の前提に重要な疑義 社員も給与減

株式会社グローバルダイニングが、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況となった。新型コロナウイルスに伴い訪日客が減少するとともに、緊急事態宣言による臨時休業や営業時間短縮により売上高が著しく減少。

■鳥貴族、休業は「当面の間」 5月の従業員給与は6割の休業手当のみ

パートやアルバイトも含めた従業員の雇用は維持し、4月の給料は雇用調整助成金に会社負担分も加え全額を支給するが、5月は雇用調整助成金のみでの給与6割分の休業手当を支給。従業員と痛み分けせざるを得なくなる。

■幸楽苑、社員給与を2割カット 台風とコロナのダブルパンチ

幸楽苑が新型コロナウイルスの影響による業績悪化の状況に鑑み、役員報酬の減額、社員給与の減額及び従業員の夏季賞与の不支給を発表。労働組合と協議し、社員も月額給与を20%減額、夏のボーナスも支給しない。

■ミールワークス、アークランドサービスホールディングスへ同社株式を譲渡

ミールワークスは、同社の発行済株式総数の70%を、既存株主からアークランドサービスホールディングスへ4月30日に譲渡し、同社代表取締役社長に ALSHD 代表取締役社長の白井健一郎氏が5月12日に就任した。

■松屋フーズの前期営業益、16年ぶり高水準 31%増、新商品で顧客開拓

2020年3月期の連結決算は営業利益が50億円と前の期比31%増え、16年ぶりの高水準となった。牛丼に比べて単価の高い洋食やご当地メニューの新商品開発に注力し新規顧客の獲得につなげた。

■フライングガーデン、2020年3月期(19年4月～20年3月)の業績 減収減益

2020年3月期 通期の業績を発表。売上高70億3100万円(対前年同期比4.0%減)、営業利益1億500万円(同64.2%減)、経常利益1億4400万円(同55.8%減)、当期純利益9100万円(同66.7%減)であった。

■日本KFC、前期営業益2.2倍に 持ち帰り需要旺盛

2020年3月期連結決算は営業利益が47億円と前の期比2.2倍になった。決算期を変更した後の11年3月期以降で過去最高。500円の値ごろ感あるランチを通常メニューに組み入れ、日常利用を強化した。